

平成26年度遠野市

防災訓練

8月31日(日)、6時頃

市は、防災訓練を実施します。当日の行動手順などを紹介しますので、ぜひご参加ください。
◎問い合わせ 市消防本部消防総務課(☎62-2119)



ステップ3 各自治会の 訓練に参加

安否確認など地域での訓練に参加しよう
安否確認訓練のほか、一部では防災訓練などを実施するところもあります。積極的に参加し、地域の防災力を高めましょう。※訓練内容は各自治会で異なります

指定の一時避難所に 避難しよう

避難勧告に従い、地域の指定一時避難場所に向きましょう。場所が分からなければ、4月に全戸配布された防災マップ(右下)で確認しましょう

ステップ2 避難場所 へ向かう



ステップ1 サイレン を聞く

防災無線で避難勧告の内容を確認しよう

当日の6時頃に防災無線と遠野テレビの音声告知端末で避難勧告を発令します。その指示内容をしっかり確認し、次の行動へ備えましょう

↑当日の行動手順

訓練内容

＜個人、各自治会を対象＞

避難・安否確認訓練、自主防災組織災害活動本部設置訓練 ※詳しくは各自治会の指示に従ってください

＜その他＞

市消防団分団本部設置運営訓練、地区センター開設・運営訓練、初期消火・救急救護訓練(一部の自主防災組織が対象)など

災害から命を守る第一歩。 まず、訓練に参加しよう。

必ず守ろう！ 救急外来の受診マナー。

急な病気やけがのためにある救急外来。最近、その受診マナーの低下が問題視されています。正しく受診し、地域の医療を守りましょう。

◎問い合わせ 市保健医療課(☎62-5111内線29)

現場が悲鳴を上げています！

市内で唯一の救急指定病院である県立遠野病院。その現場が今、悲鳴を上げています。同院の一日あたりの救急外来件数(時間外受診)は約9.8件で、7人の常勤医が「当直」として日替わりで対応し、日中の診療に加えて夜通しでそれらの診療にあたっています。自宅や病院での待機も含め、実質的に連続24時間以上の勤務状態にあるのは、約3日に1回というペース。大学や他の県立病院の医師の協力を得てもなお、同院の医師たちは過酷な勤務状態にあります。それに拍車をかけているのが、受診マナーの低下。緊急性も無いのに休日や時間外に受診する「コンビニ受診」や、「早く診察してもらいたいから」「交通費がもったいない」という理由で、救急車をタクシー感覚で利用するケースも見られます。

コンビニ受診

救急車の
タクシー化

救急外来とは…

救急外来とは、休日や夜間などに緊急性のある患者を対象に診療を行う外来のこと。市内では、県立遠野病院が唯一の指定病院。

遠野病院の救急外来の現状 (平成25年度実績)

年間受診者数(時間外受診)	1日平均
3,575 件	約 9.8 件
常勤医が実質的に連続24時間以上の勤務状態にある頻度	約 3 日に 1 回

命を守るために、適正な受診を。

救急外来はそもそも、重症患者への対処に特化しています。安易に受診すると、急患の対応に支障をきたす場合もあります。救急外来の受診マナーを守ることは、他の人の命を守ることに繋がります。下記のこと、ぜひご協力ください。

- 緊急性が無ければ、平日の一般外来で受診する
- 夜間の子どもの発熱などは、病院に駆け込む前に相談電話(#8000)にアドバイスを求める
- 休日当番医を活用する(P17で当番医を紹介しています)

Interview

命を救う最後の砦を、大切に。

救急外来は、命を救う最後の砦。緊急事態への備えとして、私たちは、万全の受け入れ体制を整えたいと思っております。しかし、安易な利用が増加すれば、現場は過酷さを増し、医療精度の低下や医師の流出

を招きかねません。最終的には病院の存続に関わってくる可能性も。安心して受診できるよう、私たち医師も頑張りますので、市民の皆さまにも、現状への理解と適切な受診をお願いいたします。

県立遠野病院
菅原 隆 院長

Takashi Sugawara
◎岩手医大卒。平成2年県医療局入り。中央病院・医療情報管理部長などを経て本年4月に遠野病院に着任。58歳。仙台市出身。

